

土浦地区剣道連盟プロフィール

1 名称

土浦地区剣道連盟

2 設立

昭和26年4月1日 常南剣道研究会（土浦剣友会）発足

昭和50年5月1日 土浦地区剣道連盟発足（土浦市・霞ヶ浦町・新治村・阿見町・旧桜村の一部が加盟する）

昭和62年 桜村のつくば市異動に伴い、土浦地区剣道連盟を退会

平成17年 霞ヶ浦町のかすみがうら市異動に伴い、土浦地区剣道連盟を退会

<設立の経緯>

(1) 土浦地区剣道連盟の草創期

昭和26年に川島満雄先生のご尽力で常南剣道研究会（土浦剣友会）として発足しました。当時日本は終戦後の占領下で剣道は許可されておらず、旧憲兵隊の道場などで稽古をしたとのこと。防具なども多くは焼却されてしまいましたが、旧家に埋もれていた防具を工夫して皆で使用したとお聞きしています。

(2) 土浦地区剣道連盟に改称

昭和50年5月に小室浩会長のもと土浦市・霞ヶ浦町・新治村・阿見町・旧桜村の一部の剣友が集い土浦地区剣道連盟と改称しました。

(3) 現在までの経緯

1999年から実施された平成の市町村大合併に伴い、桜村と霞ヶ浦町がつくば市剣道連盟とかすみがうら市剣道連盟に編入され、現在本連盟は土浦市と阿見町在住の会員で運営されています。

(4) 歴代会長

初代	川島満雄	2代	小室 浩	3代	吉田明一	4代	川島 武
5代	小出寛一	6代	矢口四郎	7代	藤井啓一	8代	川島安則
9代	山口鋭一	10代	加藤力男	11代	影山照陽	12代	寺田幸司
13代	倉持利夫						

3 現在の役員

顧問 佐藤成明 石山陸紀 山口鋭一 加藤力男 影山照陽 寺田幸司

会長 倉持利夫 副会長 山下克久 寺田英功 佐野 毅

理事長 佐藤英雄 副理事長 小倉久聡

理事 浜野真一 秋山 隆 長井尚美 砂田益弘 染谷浩一 宮崎雅則 坂寄清文

会計 高梨賢吾 監査 渡辺義久 塚本哲也

事務局長 渡辺 快

少年指導部長 遠藤瑞士 少年指導副部長 相澤 剛 小島 桂 渡部雄介 小岸拓也

居合道部長 塚本哲也 居合道副部長 来栖利枝

4 会員数

100名

5 年間行事

実施月	行 事	実施場所
4月	令和3年度 第68回桜祭り剣道大会 第1回土浦地区剣道一級審査会	霞ヶ浦文化体育会館 土浦市立武道館
6月	土浦地区剣道連盟 役員会	桜町三丁目公民館
7月	土浦地区剣道連盟 総会	土浦市立武道館
8月	四地区合同稽古会（当番：つくば市） 第2回土浦地区剣道一級審査会	つくば市 土浦市立武道館
9月	四地区合同稽古会（当番：石岡市）	石岡市
10月	四地区合同稽古会（当番：かすみがうら市）	かすみがうら市
12月	土浦地区剣道連盟 忘年会	市内
1月	少年指導部打ち合わせ会議 四地区合同稽古会（当番：土浦市） 新年稽古会	高梨武道具店 土浦市立武道館 土浦市立武道館
2月	令和4年度 第69回桜祭り剣道大会 打ち合わせ会議（ライオンズクラブ 合同会議）	市内
3月	居合道講習会 剣道体験教室	新治義務教育学校武道館 土浦市立武道館

※ 土浦地区剣道連盟定例稽古会

○毎週水曜日に土浦市立武道館にて 18:00～20:30 で実施

※ 土剣連居合道部定例稽古会

○毎週月曜日に土浦市武道館にて 18:00～20:30 で実施

○毎週土曜日に新治義務教育学校武道館にて 15:00～18:00 で実施

※ 他団体との交流稽古会

○毎年四地区稽古会を始め、他県または県内他地区と親交を深めることを目的として、交流稽古会を実施している。

6 活動状況

本連盟では「剣道は剣の理法の修練による人間形成の道である」とする剣道の理念に基き、会員相互の親睦を図る事を主眼に目的達成に向け活動しています。

毎週水曜日の定例稽古会には毎回多くの会員が集い、それぞれの持ち味を生かし和気藹々とした中にも理念を探究した稽古を展開し相互に切磋琢磨しています。

また、居合道部の定例稽古会も塚本部長を中心に、対人を意識した刀法・身体の運用など居合道の基本を中心とした稽古に邁進しています。

さらに、つくば市剣連・石岡市剣連・かすみがうら市剣連との四地区稽古会をはじめ他県や他地区との交流稽古会を積極的に実施しています。この行事は剣道の稽古とともに交流の中で幅広い人間関係を築くことを目的としており、会員皆が楽しみにしています。

その他、今年度で68回目になる亀城ライオンズクラブ後援の桜祭り剣道大会や一

級審査会、剣道体験教室などの年間計画に沿った行事も全会員の協力のもと毎年効果的に実施しています。

しかし、ここ2年間は新型コロナウイルス感染症の影響で交流稽古会を含め多くの行事を中止せざるを得なくなっており残念でなりません。

7 今後の抱負並びに展望

土浦地区剣道連盟は前述のとおり戦後の占領下で、剣道の解禁以前から活動する伝統ある団体です。また剣道の鍛錬はもとより会員相互の親睦を図ることを第一義とする団体でもあります。その精神を維持継続し更に継承することが現在の土浦剣連に課せられた使命と認識しています。先ずはその精神を培ってきた先達の足跡を述べさせていただきます。

昭和26年サンフランシスコ講和条約が締結され剣道が解禁になりました。翌年の昭和27年4月20日に東京の皇道義会で名を馳せた小室浩会長のもと剣聖・持田盛二先生（剣道十段）をお招きし、第一回茨城県剣道大会が全県に先駆けて土浦で開催されました。（写真1）



（写真1・中央が持田盛二先生・小室浩先生・川島満雄先生、向かって左端が大柵一郎先生）

次は土浦地区の剣道振興についてです。その功績者は多数おられますがその中の一人、大柵一郎先生について紹介させていただきます。大柵先生は戦時中軍医として霞ヶ浦海軍航空隊に勤務され、終戦後土浦市に病院を開業されるとともに地域の子供達に剣道を指導されました。当時から土浦地域には多くの剣道場があり剣道愛好家を多数育んでおりましたが、その中心的な道場として大柵道場が存在しておりました。教え子には、全国高校総体優勝を遂げた影山照陽先生・高梨友重先生、世界大会3位に輝く寺田幸司先

生を始め多くの選手や高段者を指導され地域の剣道発展に大きく貢献されました。

現在は、本連盟を中心に土浦地域の各道場・団体の後継者がその精神を受け継ぎ、国体・全日本剣道選手権大会や各種大会をはじめ少年剣道大会などでも好成績を残すとともに、人間性豊かな社会人を育成する活動を展開しています。



(写真2・亀城ライオンズクラブ後援・桜祭り剣道大会開会式の様子)



(写真3・現在本連盟が主宰する定例稽古会終了後の写真 土浦市立武道館にて)

このように先達が築いてこられた功績に感謝し、これに恥じぬよう今後も土浦地区剣道連盟の発展を目指し、会員一同楽しく真摯に努力して参る所存でございます。

(文責：倉持利夫)